

子どもの遊び場 ニュース1

2018年7月発行 問い合わせ：広川町建設課 0943-32-1157

プログラム

1. 開会
2. 参加者紹介
3. 基本構想について
4. 30年度について
5. 「ヒロチル3」の企画
6. 閉会

7月26日(木)19時から役場3階大会議室で、ワークショップ委員のメンバー16人が参加して「第1回チルドレンズパークワークショップ」を開催しました。

はじめに「総合戦略」について学び、次に「子どもの遊び場基本構想」について情報共有しました。その後、今年度の取り組みを確認し、9月に開催する「広川チルドレンズパーク（ヒロチル）3」の企画を考えました。

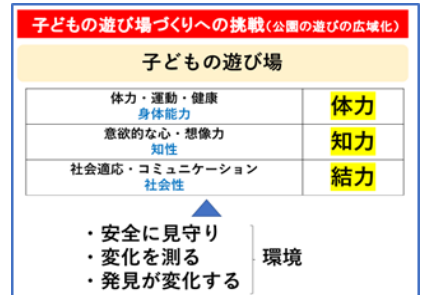
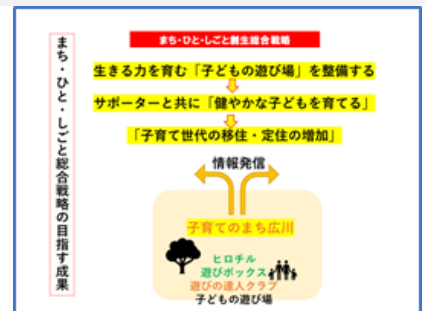
「総合戦略」を学び、「子どもの遊び場基本構想」について情報共有しました。

●「総合戦略」とは

広川町の人口減少対策として、まち・ひと・しごとづくりを一体的に推進するために作られたのが総合戦略です。その一つに「ここで健やかな子どもを育てたい移住定住プロジェクト」があり、「子ども遊び場整備事業」はその取り組みのひとつです。子どもの遊び場を整備することで、子育て世代の満足度を高め、移住や定住をする家族が増えることを目指しています。

●「子どもの遊び場基本構想」について

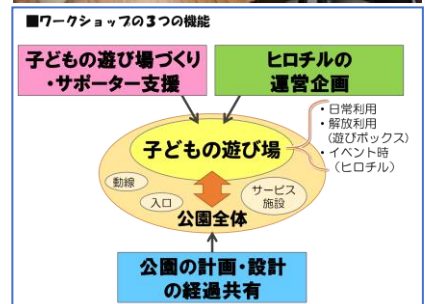
H29年度に策定した「子どもの遊び場基本構想」の理念は「広川町の子どもを健全育成を助け、子どもの生きる力を育くむ」です。そこで基本構想では公園の再整備だけでなく、サポーターを育成すし、遊びを安全に見守り、変化を測り、発見を変化させることで、子どもたちの体力・知力・結力を向上させることを構想しました。各班での情報共有では「公園をどうするかではなく、遊びをどうするかが問題だ」「子どもが楽しく遊ぶこと、これが目的だ」という熱い議論がかわされていました。



H30年の「子どもの遊び場基本計画」づくりについて

●ワークショップに3つの機能がある

H30年度は「子どもの遊び場基本計画」を策定します。そこで6回のワークショップを行い、子どもの遊び場づくり・サポーター支援、ヒロチルの運営企画について話し合い、公園の計画・設計の経過を共有します。また、2回のヒロチルを開催し、サポーターの支援体制づくりについての実証実験を行います。



「ヒロチル3」の楽しい企画を、みんなでいろいろ考えました！

●ヒロチルの日時と場所

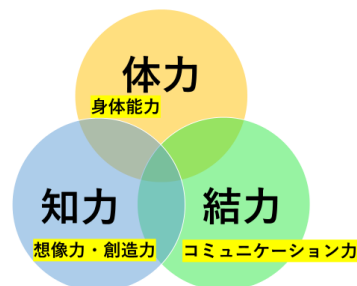
日時：H30年9月30日(日)10:15時

場所：藍彩市場 2階・ステージ・駐車場



●めざすもの

ヒロチルの目的は3つの力を伸ばすこと



●各班の企画

9月30日に開催する「ヒロチル3」の目的は、コミュニケーションを図りながら体力・創造力／想像力を伸ばすことです。子どもの動作や創造のキーワードを参考に、各班でやってみたいことを考えました。その中でも特におすすめ企画（赤字）を選びました。話をしているだけでもワクワクするような、楽しそうな企画が集まりました。

班	体力系	想像・創造系
1班	レース系：障害物競走 ゲーム系：スカットボール・卓上カーリング 吹く系：シャボン玉・スポーツ吹き矢 跳ぶ系：トランポリン	流し系：そうめん流し・果物流し 触る系：氷の山・砂のトンネル 創造系：風船飛ばし
2班	バランス系：綱渡り レース系：三輪車レース 投げる系：ストラックアウト 水遊び系：水風船・水鉄砲・水遊び ゲーム系：魚のつかみ取り	
3班	投げる系：ボール投げ 跳ぶ系：トランポリン	動物系：移動動物園・移動水族館 ゲーム系：大型絵カード取り 想像系：お昼寝アート・人形劇
4班	レース系：自転車レース 滑る系：草スキー 登る系：ザイル遊び・ボルダリング 投げる系：ボール遊び 探検系：宝探し・プチ山歩き 協力系：綱引き（曳く） アスレチック系：丸太・綱渡り・平行棒 *簡単なのと難しいの 水遊び系：水鉄砲・シューティング 水遊び・プール *大人もやる	<p>高木さん企画案 段ボール迷路</p>

